



平成30年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号: 4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業グループ管理本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

営業外収益及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成31年3月期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）において、営業外収益（為替差益）及び特別利益（当社が保有する完全子会社の業績に対する関係会社事業損失引当金の戻入処理及び完全子会社に対する資金の貸付に対する貸倒引当金の戻入）の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 為替差益（営業外収益）の内容

為替相場の変動により、平成31年3月期第2四半期連結累計期間において、為替差益5,466千円を営業外収益に計上いたしました。これは主として平成30年9月末時点で当社グループが保有する外貨建資産を同日の為替相場で評価したことで発生した評価益であります。

2. 完全子会社の業績に対する関係会社事業損失引当金の戻入処理(特別利益)の内容

個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品¹の業績に基づき、同子会社への投資額を超えて当社が負担することとなる損失見込み額を前連結会計年度に5,157千円を特別損失として計上、及び第1四半期連結累計期間に追加で3,052千円の計上を行っておりましたが、当第2四半期連結累計期間の同子会社の業績に鑑み、引当を行っておりました全額8,210千円を戻入し、第1四半期連結累計期間に特別損失に計上した金額と相殺した上で、関係会社事業損失引当金戻入額として5,157千円を特別利益として計上いたしました。

なお、上記の関係会社事業損失引当金戻入額は、今後の同子会社の業績の状況により変動いたします。また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 完全子会社に対する資金の貸付に対する貸倒引当金の戻入処理（特別利益）

個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品に資金の貸付を行っている金額全額について貸倒引当金を計上しておりましたが、当第2四半期連結累計期間の同子会社の業績に鑑み、1,159千円を貸倒引当金から戻入し、関係会社貸倒引当金戻入額として同額を特別利益に計上いたしました。

なお、上記の関係会社貸倒引当金戻入額は、今後の同社の業績の状況により変動いたします。また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

4. 業績に与える影響

当該為替差益の計上による平成31年3月期の連結業績予想値に修正はありません。また、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上